

人文社会科学部では、市民のみならずにもご参加いただける講演会をはじめ様々な活動を行っています。掲載している内容は多様な活動の一部です。興味を持った方はぜひ人文社会科学部ホームページをご覧ください。

## ◇前期公開講座

### 都市と社会:歴史・景観・表象

平成29年6月上旬開講

700万年に亘る人類史の中で、人間がある場所に集中し都市が形成されるという現象は、我々の生きる現代社会へとつながる「文明」が出現する一つの大きな条件でした。そして歴史上都市は、常に政治・経済・文化の中心であり、社会の盛衰と密接にかかわってきたのです。古代社会において文明が形成され現代文明に至る過程の中で、人間社会の営みを都市というものの抜きに理解することは不可能であるといつてよいでしょう。しかし一方で、都市の歴史的重要性、そのあり方の多様性は一つの時代、場所、学問分野だけでとらえきれぬものではありません。

幸いにも山形大学人文社会科学部では、都市をテーマとして国際的な研究を行っている教員が数多く教鞭をとっており、都市・地域学研究所がアクティブに活動しています。そこで本講座では、「都市と社会」という広いテーマを設定し、様々な地域、時代の都市を、歴史学、人類学、美術史学という異なる分野からアプローチします。本講座は受講者に現代社会を都市という視点から捉えなおす手がかりを与えると同時に、研究者に対しては将来的な学際研究の可能性を探る試みとしても位置づけられるでしょう。

### ✳ 法経政策学科(経済・経営コース)4年生が 平成28年公認会計士試験 2次試験に合格しました。

法経政策学科(経済・経営コース)4年生・鈴木瑞穂さんが平成28年公認会計士試験2次試験に合格しました。



鈴木さんは山形出身、山形東高校を卒業し、2013年4月に本学人文科学部法経政策学科へ入学しました。大学2年次(2014年)の12月から公認会計士試験の勉強を始めて、大学3年次(2015年)の12月に行われた公認会計士試験1次試験に合格、つづいて大学4年次(2016年)の8月に行われた2次試験に合格しました。

2次試験の合格発表があった11月に、早速大手監査法人への就職が内定されました。これから会計士としての活躍が期待されます。

### ✳ きらやかマネジメントスクールを開講しました。

人文社会科学部では、平成28年9月から、株式会社きらやか銀行と山形大学との連携で「きらやかマネジメントスクール」を開講しています。

このスクールは、次世代を担う企業の若手経営者・後継者・幹部職員の育成を目的に、企業経営に活かせる実践的な研修を行う画期的な内容で、毎月1回3時間、1年間の授業を実施しています。

このように、金融機関と連携した形で企業支援を実施するのは、本学としては初の試みです。人文社会科学部と理工学研究科の多様な教育研究資源をベースに、経営人の育成に相応しい内容に仕上げた、課題やテーマ別のテキストも作成いたしました。

産業界や地域社会を支える人材を育成することは、やがて地域変革の牽引や本学の発展にもつながるものであることから、今後も継続して取り組んでいく予定です。



## ◇後期公開講座

### 自由貿易と海外進出 —法律・経済・経営の視点から—

平成29年9月～10月開講

ヒト・モノ・カネ(労働・財・資金)は、近年のグローバル経済が進む以前から国境を越えて経済活動を支えてきました。近年は、グローバル化の進展に伴い、さらにその流動性が高まっています。特に貿易は、生活を豊かにし、経済発展に寄与してきました。今後、グローバル化がさらに進展することにより、自由貿易協定が結ばれ、自由貿易が進むことが予想されます。

その反面、貿易は、貿易摩擦を引き起こしてきました。例えば、1960年代から1980年代にかけて起きた繊維、鉄鋼、カラーテレビ、自動車、半導体による日本の貿易摩擦があげられます。近年では、国内・域内の経済格差の原因として自由貿易が敵視されています。イギリスのEU離脱、TPPやNAFTAに懐疑的なトランプ政権の誕生は、自由貿易の負の側面への反発でもあります。

そこで本講座では、「自由貿易」という広いテーマを設定し、法学、経済学、経営学の視点からアプローチします。本講座は、受講者に自由貿易の「真意」を理解する手がかりを与えると同時に、どの様に自由貿易時代を生き抜くかを考えるきっかけを与えることが考えられます。さらに、分野間の垣根を超えた学際的な研究の可能性を探る試みになると考えられます。

### 第44回模擬裁判公演について

模擬裁判実行委員会

第44代委員長 法経政策学科4年 丹羽 音彩

模擬裁判実行委員会とは、人文社会科学部における学生主体の研究機関であり、毎年裁判に関する演劇を行っています。当会は人文社会科学部を中心に100名を超える学生が参加し、公演に向けた「すべての」活動を学生だけで行っています。

第44代は「児童虐待」をテーマとした裁判劇を公演しました。児童虐待に関する基本的な知識やシナリオを作る上での見識を深めるため何度も勉強会を開き、裁判所の方の添削を受けながら1年かけて公演を完成させました。

今回の公演においても大勢のお客様にご来場いただいたほか、テレビや新聞などの各メディアにも取り上げていただき、非常に嬉しく思います。

現在、当会は第45代の学生たちへと代替わりしており、すでに次の公演に向けた準備を進めています。今後とも、模擬裁判実行委員会の応援をよろしくお願いいたします。



模擬裁判の様子

人文社会科学部の  
今を伝える

# Agora

人文社会科学部ニュース<アゴラ>

“AGORA”とは、ギリシャ語で“広場”という意味です。

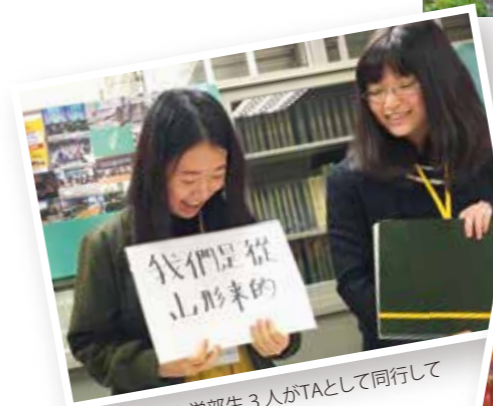
49巻1号  
山形大学人文社会科学部  
2017.4.3

教員の研究を楽しく紹介

ふあんだ  
すていく!



国立台湾師範大学の建物。日本統治時代は台北高等学校でした。



授業には人文科学部生3人がTAとして同行してくれました。自己紹介の様子。



周婉窈著・濱島敦俊ほか訳『増補版 図説台湾の歴史』(平凡社、2013年)



集中講義の風景。

## 日本人による 日本人のための日本人の歴史?

高校にも大学にも、「日本史」という科目がありますね。高・大で学ぶ日本史の違いは何ですか?と聞かれたら、ひとまず私は、一次史料(当事者がほぼ同時代的に書いた史料)を自分で読みながら、何が起きていたのかを一生懸命考えるのが、大学で学ぶ日本近代史ですと答えています。

「日本史」は日本だけではなく、外国の大学でも教えられています。「日本史」という単独の科目が設けられていることもあれば、「アジア史」の範疇に入っていることもあります。私は昔、台湾大学留学中に日本近代史の授業を受講しましたが、日本で学んできた日本史と、台湾人が台湾人に対して教えている日本史と、やはり何かが違うのです。おそらく、日本史が「自国史」であるのか、「外国史」であるのかの違いに由来するのでしょう。

1月に国立台湾師範大学で「近代日本と植民地」という1週間の集中講義を行ったのは、私にとってはその違いを乗り越えようとする挑戦でした。中国語の授業を準備するのは大変でしたが、学生は熱心に聞いてくれ、日本人として学んできた日本史を世界に発信する可能性を感じました。そして私自身、歴史を「誰に向かって語るのか」について、もっと広い視野を持つべきであることに気づきました。

ちなみに台湾の高校には、台湾史・中国史・世界史という3つの歴史科目があり、歴史教育をめぐる状況は複雑です。興味を持った方は、まずは左の写真にある、『台湾の歴史』を読んでみてください。

人文社会科学部 講師 吉井 文美(日本近代史)



# 学部長あいさつ ～学部の近況～

人文社会科学部長 清塚 邦彦



人文学部は2017年の4月から人文社会科学部に生まれ変わりました。約半世紀にわたる歴史の幕引きと想いと寂しくなりますが、もともと人文学部の実質は人文科学と社会科学が両輪でした。今回の改組は、学部の本体を維持しながら、そこに幾つかの新しい教育の仕組みを取り込んで強化したものと見るほうが正確です。

改組の委細については別に紹介する機会がありますので、ここでは、改組と並行して進めてきた最近の取り組みの中から、代表的な2、3の事例を簡単にご紹介しましょう。

学部の看板であるナスカ研究の関連では、一昨年4月にペルー文化省との間で遺跡保存協定を結んだのが大きな出来事でしたが、昨年も講演会や新たな地上絵発見の報告などがあいつぎました。さらに、拠

点となるナスカ研究所の教育研究機能を強化し、また遺跡保存や観光に向けた地元社会との交渉機能を一層強化するため、今年度からは常駐研究者を増員することとなりました。

同じ南米の絡みで言いますと、本学では一昨年から、文科省の世界展開力推進事業の一環として、南米のペルー、ボリビア、チリ3国の大学との間で学生の相互交流を推進する「ダブルトライアングル・プログラム」を実施しています。昨年度からはその推進本部がペルーでの研究実績のある本学部に移されました。その関連で、昨年は学生交流に加え、ペルー・カトリカ大学での本学サテライトオフィス開設、関係大学の担当者を本学に招いての検討会開催など、活発な活動を展開しています。

本学部ではこの他にも国際交流の拡大に向けて準備を続けています。これまで実績のあるフィリピン、台湾、オーストラリア等に加え、昨年度からは新たに東南アジアに本格的な学生交流拠点を作るプランが具体化してきました。

社会科学分野では、昨年度はこれまでにない事業として、きらやか銀行との連携で「きらやかマネジメントスクール」を開設しました。これは通常の授業とは別に地元で活躍中の事業主の方々を対象に独自の実践的教材を作り出そうとするもので、地域に密着した教育の新しい形を模索するものです。その成果はもちろん大学での普段の授業にもいろいろな形で還元されるはずですが、

以上急ぎ足でご紹介しましたが、他にも学部のいろいろなところで特色ある試みが重ねられています。それらについては三つの附属研究所からの近況報告のほか、学部HPでの報告記事などでご覧いただけます。さあ、いよいよです。



(左)ペルー・カトリカ大学 ルビオ学長 (右)清塚学部長

# ナスカ研究所活動報告

人文社会科学部附属ナスカ研究所副所長 坂井 正人

ナスカ研究所の活動(平成26年)について、Agora47巻1(2015年4月)で報告させていただきました。そこで、それ以降の活動(平成27年と28年)について、今回は報告したいと思います。

(1)ペルー文化省と山形大学の間で、ナスカの地上絵に関する学術協力と保護等を目的とする「特別協定書」を平成27年4月23日に締結しました。(2)山形大学公開講座(人文学部)「世界遺産ナスカの地上絵:学際的アプローチの成果と展開」を6月に5回にわたって実施しました。(3)山形県立中央病院においてナスカ研究所パネル展を6月14日～7月24日に開催しました。最終日には記念講演会(100名参加)を実施しました。(4)ナスカ市街地の近郊で発見した24頭の動物の地上絵に関する記者会見を7月7日に行いました。(5)第55回アメリカン国際会議(エルサルバドル・7月13日)において、イタリア調査団と共同でシンポジウムを開催しました。(6)ナスカでの現地調査を平成27年9月～平成28年2月に実施しました。(7)Museo Arqueológico Antonini(ペルー共和国)において、イタリア調査団と共同でシンポジウムを平成27年9月5日に実施しました。(8)企画展「ナスカの地上絵:山形大学人文学部附属ナスカ研究所の成果から」を文翔館において平成28年2月14日～3月13日に開催しました(6919名来場)。この展覧会を記念して学術講演会(2月14日と3月6日)を実施し、ナスカ研究所の教員およびカリフォルニア

ルニア大学UCLA校のケビン・ボーン副所長が発表しました。(9)円卓会議「Round Table Conference on Nasca」を3月7日に山形大学人文学部において実施しました。(10)学術講演会「コトシユからナスカへ」を藤井龍彦名誉教授(国立民族学博物館)を迎えて4月15日に人文学部で実施しました。この講演会は、藤井先生の蔵書(約2000冊)をナスカ研究所に対して寄贈されたことを記念して開催されました。(11)「舌を伸ばした動物」の地上絵に関する記者会見を4月22日に行いました。(12)ナスカでの現地調査を平成28年6月～平成29年1月に実施しました。この調査には、米国Tulane大学が参加しました。(13)ナスカ市街地の近郊で発見した41頭の動物の地上絵を保護するために、ペルー文化省と共同で、この地区の遺跡公園化に着手しました。11月18日には現地説明会を実施しました。



山形大学が発見した地上絵を保護するために設置された看板



遺跡公園の現地説明会の参加者たち

# 映像文化研究所の行く年来る年

人文社会科学部附属映像文化研究所 所長 西上 勝

人文学部附属映像文化研究所では、映画研究部門と山形映像文化研究部門の2つの部門に分かれ、平成28年度に各々独自の研究活動実績を積み上げてまいりましたが、来年度に向けても平成28年度の実績に基づいて、さらに充実すべく研究を推進してまいります。今後とも引き続きご支援頂きますようお願い致します。

両部門の活動実績とこれからの計画について、両部門長に詳しく以下に紹介して頂きます。

## 映画研究部門の活動

映画研究部門長 大久保 清朗

映画研究部門では、平成28年度におきましては、フランスの映画批評家であるアンドレ・バザンの仕事を総合的に再検討することを目的とした「アンドレ・バザン研究会」を立ち上げました。日本全国の映画研究者に呼びかけ所員として参加していただき、日本学術振興会科学研究費基盤Bを申請しました。こちらは年度内に、年会誌「アンドレ・バザン研究」第1号を刊行し、バザンの未邦訳のテキストや所員の研究論文を発信する予定です。また、平成29年1月には、「柳下美恵のピアノdeシネマ」と題して、山形コンベンションビューロー、山形国際ドキュメンタリー映画祭と提携し、サイレント映画のピアノ生演奏付き上映会を企画しました。以上のような内容を、次年度以降も継続推進して参ります。また山形国際ドキュメンタリー映画祭開催中は、映画祭との提携企画を予定しております。また他に28年6月に市民向けの公開講座「映画・写真・絵画・文学におけるドキュメンタリーとフィクション」を行いました。引き続きご支援、よろしくお願い申し上げます。



## 山形映像文化研究部門の活動

山形映像文化研究部門長 石澤 靖典

山形の地域映像文化をあつかう山形映像文化研究部門では、平成28年10月16日に人文学部にシンポジウム「近代都市の相貌—明治山形の写真・絵画・建築」を開催いたしました。当日は4名の研究者を中心に、明治期山形の初期写真や絵画について、おもに地方都市の近代化という観点から議論をおこないました。また年度末には、一昨年開催した「没後100年記念 菊池新学シンポジウム—東北初の写真家、菊池新学と山形の写真文化」の報告書を刊行し、その成果を公開いたしました。今後こうした地域写真史を軸とする調査をすすめる予定ですが、幸い、所員の森岡卓司を代表者として平成28年度日本学術振興会科学研究費・基盤研究(B)に申請していた課題「東北地方における写真文化の形成過程と視覚資料の調査研究」が採択され、平成32年度までの5年にわたり、山形を中心とする東北の写真文化を総合的に研究する道筋がつけられることとなりました。平成29年度は、その一環として、明治・大正期の地域写真に関する調査を、県内外の研究者や諸機関と連携しつつ積極的に推し進め、研究会やシンポジウムのかたちで情報の共有と発信をおこなう予定です。



# やまがた地域社会研究所の活動… いま、そして、これから

人文社会科学部附属地域社会研究所 所長 是川 晴彦

やまがた地域社会研究所では地域の抱える課題の解決に向けた調査・分析を進めています。また、山形県の市町村との連携事業の窓口となって、地域に関する研究教育のコーディネートも行っています。今回は、平成28年度の特徴的な事業について紹介します。

## 1. 国道347号線の通年通行による地域活性化効果の調査・研究

この調査・研究は、尾花沢市・大石田町広域連携推進協議会から委託されたものです。冬期閉鎖されていた国道347号線は平成28年から通年通行が可能となり、尾花沢市、大石田町の交流人口の増加が期待されます。そのため、通年通行によって生じる影響や、両地域の活性化に繋げる手法について調査・分析を行うことになりました。

調査・研究の主な内容は、(1)通行量調査による利用実態の把握と分析、(2)尾花沢市、大石田町の観光施設でのヒアリング調査によるニーズ等の把握、(3)物流への効果に関する調査分析、(4)国道47、48号線との比較を通じた国道347号線の特徴と意義の分析、(5)地域の活性化に与える効果と活性化に求められる視点や取り組みの考察、などです。

通行量調査では、車両ナンバーの県別分類や乗車人数の整理など従来の調査にない視点も加え、国道347号線の利用実態の正確な把握に努めました。また、観光施設の調査では学生も参加させ、若い世代の視点から活性化に必要な取り組みなどを考えてもらいました。

上記の調査内容を踏まえ、不足する資源や活性化に必要な政策等の分析を進め、平成28年度末には成果報告書としてまとめる予定です。



大石田町における調査

## 2. 東北中央自動車道建設に関する現場公開授業の実施

平成28年10月にはNEXCO東日本のご協力を得て、東北中央自動車道建設に関する学生向け現場公開授業を実施しました。NEXCO東日本の方から東北地方における高速道路の実態、高速道開通の多様な効果などについて説明していただいたのち、トンネルやインターチェンジを建設している工事現場を視察させていただきました。

学生たちは、日常生活に多様な面から高速道が貢献していることを事例や数値を通じて知ることができました。また、通常では見ることができない貴重な工事現場を見学することができ、高速道建設の実態や意義を理解する大変貴重な機会になりました。

## 3. 平成29年度に向けて

平成29年度も国道347号線について通年通行前後の比較分析を進める予定です。また、少子高齢化、地方創生、まちづくりなど地域が今日抱える課題についても研究を行う予定です。解決したい課題等がありましたらお声をかけていただければ幸いです。



東北中央自動車道建設に関する現場公開授業



# 人文社会科学部ってこんなところ!

大学の講義は、座って先生の話聴き、レポートを書いて提出するだけ…なん  
一緒に学ぶ仲間や先生と意見を出し合い、自分の研究テーマについて発表したり、大学  
そんなキャンパスライフを満喫して

を飛び出して学外調査をしたり、留学やインターンシップに行ったりすることも出来ます。 ※記載順 氏名/コース/出身高校/ゼミ(法経政策学科生)/課外活動  
いる先輩たちからの声が届きました!

## 実践教育 プログラム

学校に行けない子どもたちが通  
う、フリースクールを運営するNPO法人  
での、1か月のインターンシップを経験  
しました。生徒達と勉強やスポーツ、  
料理や清掃ボランティアなど、様々な  
ことに取り組みながら、熱い思いをも  
って働くスタッフの方からたくさん  
のことを学んだ充実の1か月間でした!



渡部 彩香さん  
地域・人間コース 3年  
山形県立米沢興譲館高等学校 卒業  
ラグビー部

## 環境経済学 ゼミ

ゼミの研究で県庁と連携して「山形県のゴミ  
袋の価格弾力性」を推定しました。簡単に言う  
と「ゴミ袋の価格がどれだけ上がるか、ゴミの量だけ  
だけ減るか」というのを経済学的に分析しました。県  
内のゴミ袋を集めるために奔走したり、ゴミ袋  
に水を入れて、実際の量を算出したり、ハードの面  
もありましたが、非常に充足感のある研究で  
した!

太田 孝平さん  
経済・経営コース 4年  
福島県立会津高等学校 卒業  
環境経済学ゼミ  
山形大学模擬裁判  
実行委員会



堀田 弘通さん

文化動態論コース 4年  
静岡県立清水東高等学校 卒業  
居合道サークル



## 交換留学 (ロシア)

ロシア・シベリアで約一年間にわたり語学を中心に  
学んでいました。実際に住んでいると今までのロシアに  
対するイメージとは違う驚きと発見があります。  
大学にいらっしゃるうちに観光以外で外国に行ってみては  
どうでしょうか?飛び込んでしまえば海外での生活もそ  
れほど怖くはないかも…。それよりも、たくさんの人と言葉  
業、価値観に出会えるかけがえのない経験が  
あなたを待っていると思います!!!

## 地域創生の 実践

国際交流を通じて、自分の学ぶ山形の魅力を発見し、  
多くの人に発信したいと思うようになりました。そこで、  
山形県でも問題となっている空き家をリノベーションし、  
"Agasuke House"というゲストハウスを作っています。  
実際に多くの人が山形に足を運ぶ、山形の魅力を  
肌で感じてもらう場所となるように頑張ります!  
みなさん遊びに来てください!!!

羽田 春香さん

経済・経営コース 2年  
会津若松ザベリオ学園高等学校 卒業  
国際金融論ゼミ  
国際交流サークルIF 代表  
/山形大学模擬裁判実行委員会



## 映像学 演習

映像学演習では20分程度の映画を  
作成しました。監督、撮影、編集、脚本……  
すべて自分たちで行うので授業外の時間を  
たくさん使いますが、その分やりがいがあります。  
自分で何かを作りたい、表現してみたい、  
映画や映像に興味がある、などなど、  
自分の「好き」「得意」を活かしたい人に  
ぴったりの授業だと思います。



亀橋 あかりさん  
グローバル文化学コース 4年  
青森県立八戸北高等学校 卒業

## 短期 派遣留学

「言葉も通じない国に行きたい!」そう思い昨年  
の7月から約半年間東南アジアのブルネイに留学  
しました。現地の大学では大好きな東南アジアの  
文化と政治について深く学びました。一日五回モスク  
から流れるアザンやハラールなど、日本では普段見聞き  
することのないイスラム教国ならではの経験がとき  
毎日がとても新鮮でした。皆さんも学生のうちに  
多くのことにチャレンジしてみてください!!!

山川 菜奈さん  
公共政策コース 3年  
宮城県立仙台二華高等学校 卒業  
国際関係論ゼミ  
花笠サークル四面楚歌





# 平成28年度 卒業生進路状況

平成29年3月10日現在

学科名		卒業 予定者数	進学 予定者数	その他	就職希望 者数(A)	就職内定者内訳				就職率 B/A
						企業	公務員	教員	計(B)	
人間文化学科	男	30	1	1	28	16	5	3	24	85.7%
	女	87	2	4	81	65	9	3	77	95.1%
	小計	117	3	5	109	81	14	6	101	92.7%
法経政策学科	男	136	7	7	122	81	37	0	118	96.7%
	女	68	0	0	68	45	20	0	65	95.6%
	小計	204	7	7	190	126	57	0	183	96.3%
合計	男	166	8	8	150	97	42	3	142	94.7%
	女	155	2	4	149	110	29	3	142	95.3%
	計	321	10	12	299	207	71	6	284	95.0%

# 平成28年度卒業生就職・進学一覧

業種／就職先	人間文化学科		法経政策学科	
	男	女	男	女
建設業	1	3	3	2
井上板金工業所				1
近江建設			1	
オノヤ			1	
クレハ錦建設	1			
黒澤建設工業		1		
新山形ホームテック				1
大進建設		1		
東北電化工業		1		
日本地下水開発			1	
製造業	2	8	9	7
アサヒビール			1	
アマノ			1	
A S E ジャパン		1		1
カネダイ		1		
シェルター				1
スタンレー鶴岡製作所			1	
大平洋製鋼			1	
田辺三菱製薬				1
通研電気工業		2		
テスコム			1	
東邦アセチレン				1
東北パイオニア				1
東北パイオニア E G			1	
東北フジパン		1		
東洋刃物	1			
トヨタ自動車東日本			1	
中村屋				1
野水鋼業	1			
帆風		1		
北部通信工業		1		
三井農林			1	
明電舎				1
モガミフーズ		1		
リンナイ			1	
電気・ガス・熱供給・水道業	0	0	2	0
東北電力			2	
情報通信業	3	5	9	4
アルパイン情報システム				1
N D ソフトウェア		1		
F B S			1	
サイバーコム		1		
システムサポート			1	
シュアデザインズ				1
ステップ			1	
D S B 情報システム			1	
テレビユー山形			1	
東北ディーシーエス			1	
ピラミッドフィルム	1			
フォーカスシステムズ		1		
マイナビ	1		1	

業種／就職先	人間文化学科		法経政策学科	
	男	女	男	女
マクロミル		1	1	
山形県 J A ビジネス			1	
山形新聞社				1
山形放送	1			1
リスベクト		1		
運輸業・郵便業	1	5	3	1
三陸運輸		1		
塩竈港運送				1
秋北バス		1		
センコー	1			
第一貨物		1		
はとバス			1	
東日本旅客鉄道(J R 東日本)		1		
北海道旅客鉄道(J R 北海道)			1	
宮城交通		1		
ヤマト運輸			1	
卸売業・小売業	3	10	10	4
旭日産業		1		
As-me エステール		1		
アニメイト	1			
遠藤商事			1	
おおつか(ギフトプラザグループ)		1		
カメイ調剤薬局			1	
キャメル珈琲		1		
コックス			1	
コマツ山形	1			
コメリ		1		
コンドーテック				1
生活協同組合連合会大学生協東北事業連合			1	
大学生協同組合 東北事業連合		1		
寺岡システム		1		
とみひろ				1
トヨタカローラ山形			1	
長野いすゞ自動車			1	
西幸		1		
西松屋チェーン				1
福島ダイハツ販売			1	
福原	1			
緑川化成工業			1	
ヨネイ			1	
リコージャパン			1	1
リンベル		1		
レッドホースコーポレーション		1		
金融業・保険業	0	10	22	18
あいおいニッセイ同和損害保険				1
秋田銀行			1	
岩手県農業共済組合			1	
オリエントコーポレーション		1		
かんぽ生命保険(日本郵政グループ)				1
北日本銀行		1	2	
共栄火災海上保険			1	

業種／就職先	人間文化学科		法経政策学科	
	男	女	男	女
きらやか銀行				2
七十七銀行		2	8	2
荘内銀行		1		1
セブン銀行				1
セブン・フィナンシャルサービス		1		
全国労働者共済生活協同組合連合会(全労済)			1	
ソニー生命保険			1	
損害保険ジャパン日本興亜		2		
第四銀行		1		
大和証券			1	1
東京海上日動火災保険				2
東北労働金庫		1	1	1
日本銀行				1
日本政策金融公庫			1	
農林中央金庫				1
古川信用組合				1
北洋銀行			1	
北海道銀行			1	
三井住友海上火災保険				1
山形銀行			2	
山形県農業信用基金協会				1
横浜銀行				1
不動産業・物品賃貸業	0	4	3	1
カチタス			1	
大東建物管理			1	
大和リース		1		
大和リビングマネジメント			1	1
三井不動産リアルティ東北		2		1
ヤマコー		1		
学術研究・専門・技術サービス業	1	2	5	3
アイン企画	1			
エイエイピー				1
エン・ジャパン		1		
C D G 東京本社			1	1
税理士法人あさひ会計		1	2	
Future Rays			1	
三澤経営センター			1	
有限責任監査法人トーマツ				1
宿泊業・飲食サービス業	1	3	1	2
くらコーポレーション		1		
幸楽苑ホールディングス			1	
ジェイプロジェクト		1		
東急ステイサービス				1
ハブ				1
盛岡ターミナルビル	1			
レイズインターナショナル		1		
サービス業	0	6	2	1
おゝみ		1		
クリーンシステム				1
公益財団法人仙台市市民文化事業団		1		
公益財団法人せんだい男女共同参画財団		1		
ザイマックスアカウンティングパートナー		1		
独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構			1	
プライムアシスタンス		1		
マーキュリー		1	1	
生活関連サービス業・娯楽業	2	4	0	0
こころネットグループ		1		
J T B 東北		1		
ジョイングループ		1		
セレモアグループ		1		
旅工房		1		
マルタマ	1			
教育・学習支援業	0	2	4	0
公立大学法人秋田県立大学			1	
国立大学法人山形大学		1	1	
仙台進学プラザ			1	
東京アカデミー			1	
フーレイ			1	
医療・福祉	1	0	4	1
医療法人社団松柏会 至誠堂総合病院	1			
公益社団法人宮城県医師会			1	
社会福祉法人恩賜財団済生会 支部栃木県済生会宇都宮病院			1	

業種／就職先・進学先	人間文化学科		法経政策学科	
	男	女	男	女
庄内医療生活協同組合				1
全国健康保険協会				1
山形県市町村職員共済組合				1
複合サービス事業	1	3	4	1
新庄もがみ農業協同組合				1
全国農業協同組合連合会(J A 全農)				1
仙台農業協同組合				1
東根市農業協同組合				1
古川農業協同組合	1			
宮城県土地改良事業団体連合会			1	
宮城県農業協同組合中央会(J A 宮城中央会)				1
山形おきたま農業協同組合			2	
国家公務員	1	3	13	5
厚生労働省				1
裁判所事務官			1	
労働基準監督官				1
北海道経済産業局				1
東北管区行政評価局	1	1		
東北財務局				2
東北地方整備局				2
宮城労働局				2
仙台国税局				1
仙台地方裁判所				1
仙台法務局				1
山形地方検察庁				1
山形労働局			1	2
前橋地方検察庁				1
横浜税関				1
陸上自衛隊				1
地方公務員	4	6	24	15
宮城県警察本部				1
山形県警察本部				1
神奈川県警察本部			1	
岩手県職員				1
宮城県職員	1	1	1	2
山形県職員				4
福島県職員				1
栃木県職員				1
鳥取県職員				1
青森市役所				1
仙台市役所			1	3
大崎市役所			1	
白石市役所			1	
名取市役所				1
大仙市役所				1
山形市役所			2	3
天童市役所				1
東根市役所				1
酒田市役所				1
鶴岡市役所				1
米沢市役所	1			
長井市役所				1
香取市役所	1			
富谷町役場				1
会津美里町役場				1
二戸地区広域行政事務組合消防職員	1		1	
教員	3	3	0	0
宮城県教員(高等学校・国語)		1		
仙台市教員(中学校・国語)			1	
山形県教員(中学校・英語)		1		
山形県教員(中学校・国語)			1	
群馬県教員(中学校・社会)			1	
山形県講師(高等学校・英語)		1		
その他	1	4	7	0
進学			2	7
山形大学大学院社会文化システム研究科			1	3
東北大学大学院文学研究科			1	
東北大学法科大学院				2
福島大学大学院人間発達文化研究科				1
北海道大学法科大学院				1

これらの数値は平成29年3月10日現在のものです。